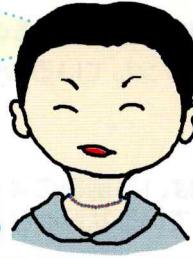


市議会議員小池みよ子の

ひたすら鹿嶋のために

活動報告

Vol.18

小池みよ子
後援会会報 vol.18

【発行】

小池みよ子後援会

〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2

TEL 0299-83-5252

携帯電話 090-1690-0136

所属委員会 総務生活委員会委員長/議会運営委員会/議会改革検討協議会/鹿行広域事務組合議会議長

議会報告 平成28年度6月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

夏バテにも負けず
元気に頑張ってます!

熊本地震から4ヶ月、次は大雨と。何とお見舞いを申し上げたらよいのか、どうぞ大事にとしか言葉がありません。関東でも大地震の発生確率が上がりました。災難は忘れた頃にやって来ると言われます。日頃の備えをおこたりなく過ごしたいものです。

さて、今回的一般質問では、学校への冷房設備が導入されるとの答弁をいただきました事は大きな収穫だったと思います。（これは私だけの願いではなく、これまで多くの議員さん達も訴えて来たところです。）まずは中学校の学校図書館から3年以内に順次設置されていくこと、普通教室はその後から大規模改造に合わせてということです。部活が夏休み前で終わる中学生の受験勉強の能率向上に大きく寄与する事でしょう。そして中高生の自転車保険の加入、真剣にご家族で検討してみて下さい。

これからも「住んで良かった鹿嶋」「住むなら鹿嶋」の実現のために努力を重ねて参ります。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

質問1、教育行政について

Q1 教育行政について

市内小中学校への冷房対策について実態を調査し、来年度中に方向を決定するという答弁をいただいており、財政的に厳しいのは百も承知での質問です。この検討がどのようにおこなわれて、どのような結論に達して今の状況にあるのか答弁を求めます。



A1 錦織市長

まずは夏休みに一定の利用が見込まれる学校図書館に冷房設備を設置。期間は3カ年程度を目安に全ての小中学校に設置し、普通教室については、市の財政状況を見極めながら、国庫補助財政源を活用し、整備してまいります。



Q2 自転車通学生への自転車保険導入について

自転車事故で1億近い賠償命令が出されることがあります。鹿嶋市では、中高生になると多くの子さんが自転車通学になります。そこで、市の教育委員会の所管する生徒さんへ自転車保険加入の導入を提案します。既に保険加入を条例化した自治体もありますし、保険加入への補助金を出している自治体もあります。不幸な事故が起きないうちに導入を検討すべきだと思い提案するものです。市のお考えをお聞かせください。

A2 教育委員会事務局長

自転車事故の未然防止のため、安全運転教育も重要であると考えてあります。毎年度実施している交通安全教室や授業において、ルールを守り、安全な運転を心がけるよう指導してまいります。まずは、運転事故に備えた保険の加入を保護者の皆様に周知していくとともに、安全運転教育を進めてまいりたいと考えてあります。教育委員会としましては現時点では保険加入の条例化や補助金の交付の考え方を致しておりません。

提案 ヘルメットと同じように保険に入らないと自転車通学は許可しないような方法、方向で持ていってほしいと願うものです。自転車同士でぶつかったり、打ちどころが悪ければ死に至る。そして、もしもの時の賠償命令は保護者にくるという事を、自転車通学をさせている保護者に認識をさせてもらと提案します。学校は保険に入らなければ自転車通学は許可しないぐらいの厳しい態度でのぞんでもいいのではないかなど…。

Q3 市内一斉清掃への小中学生の参加呼びかけについて

年2回の一斉清掃への参加を市民意識、ボランティア意識向上のためにも小中学生に学校を通して呼びかけていっていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。教育委員会のお考えをお聞かせください。

A3 教育委員会事務局長

児童生徒が市内環境美化運動や海岸一斉清掃に参加することは、ボランティア精神の醸成だけでなく、児童生徒の地域活動への参加が地域と学校のつながりの強化にも結びつくと思ってあります。学校を通じて参加の呼びかけを行うとともに、清掃担当課と連携し、家族での参加について積極的に呼びかけてまいりたいと考えてあります。



↓ ウラ面に続きます。

質問2、市政全般について

Q 1-1 自治会の加入率はどの様に推移しているのか

アップしているのか、ダウンしているのか、現在どのようにになっているのか、お答えください。



A 1-1 市民生活部長

ここ数年につきましては、1%前後の減少で推移しておりまして、平成20年度における加入率61.5%と比較すると約10%の減となっている状況となってございます。

Q 1-2 以前、一般質問をした後、執行部の皆さんに努力していただき、少し上がったように見えたのですが、実際は減っていたのですね。今後どのように自治会加入率をアップさせようと思っているか、市のお考えをお聞かせ下さい。

A 1-2 市民生活部長

これまで複合的に取り組んでいて、効果があらわれていないのも確かですが、今後につきましても加入率の向上に向けた取り組みに努めてまいりたいと考えてあります。他の自治体における先進事例などを研究して、自治会加入率の向上にむけた取り組みに努めてまいりたいと考えてあります。

提案 地震発生の、恐ろしい地図(ハザードマップ)がマスコミを通じて発表されました。自助、共助、公助と言われるように、隣近所の助け合いが非常に大切だということを本当に職員の皆さんも肝に銘じて自治会加入のPRをしていただきたいと思います。メリット、デメリットばかりではなく、万が一のための助け合いの精神をこの自治会加入というところから進めていっていただきたいと思います。研究するだけでなく、前に向かって進んでいただきたいと思います。

Q 2 市内在住の職員の地域貢献について

先の一斉清掃(6/12)へは参加をしていただけましたか？自治会へは全職員が加入しているのでしょうか？市内で行われるイベントなどへの参加はどのように声掛けをしているのかも教えていただきたいと思います。

A 2 市民生活部長

市内一斉清掃につきましては、当日の業務従事者を除く職員参加、職員家族参加合わせて90%となっています。自治会の加入状況は、あくまで自主的な参加が基本となります。市長も会議時の挨拶や職員への訓示など、折りに触れ、職員も地域に戻れば一市民であることを忘れずに、積極的に地域活動へ参加するように促しております。

提案 素晴らしい数字をありがとうございました。責任、奉仕の心を忘れず持ち続けて多くの市の職員が参加してくれたことは、地域に住む者として非常に心強いものがありますので、これからも続けていただきたいと思います。茨城を襲う震度6弱の地震発生は81%の確率。それは今日この瞬間かもしれません。そんなとき先頭に立って地域を引っ張っていくのは、職員をあいてほかにないのです。どうか地域を知り、地域の見える職員であってほしいと思います。そのためには、職員が率先して100%を目標に自治会加入の呼びかけをしていただき、日頃から地域の事業に参加してほしいと願ってやみません。

Q 3-1 県の「高齢者死亡事故多発警報」を受けての鹿嶋市の対策について

公共交通の未発達な茨城県、なかでも鹿嶋市は車がなければ何もできないのが現状で、高齢化率の高まりとともに比例して高齢者事故割合が増えていくのを防ぐのは、当市の喫緊の課題とかと思われます。どのような対策をお考えですか、お聞かせください。



A 3-1 市民生活部長

鹿嶋市交通死亡事故抑止緊急対策会議を開催いたしまして、新聞折り込みによる警報発令チラシの配布、防災行政無線、鹿嶋市ホームページ、カナメールなどの啓発及び鹿嶋警察署との死亡事故現場の点検及び対策を協議することを決定いたしました。死亡事故現場にあきましては、センターラインの引き直しや交差点の中心部をカラー舗装にするなどの対策も講じています。鹿嶋市交通安全母の会の皆様による高齢者世帯訪問活動や、地区公民館や地区集会所における高齢者交通安全教室の開催など行っています。

Q 3-2 鹿嶋の高齢者は免許が手放せないというのが実情です。高齢化率が50%に迫る地区もあります。高齢者が安心して免許が返納できる公共交通システムの更なる前進を願う者としては、一日も早いドア・ツー・ドアの乗合タクシーの実現を願ってやみません。免許のない方にはタクシー初乗りチケットを配布していますが、返納者には多めに配布などの特典も付与して返納制度を少し推奨していってはいかがでしょうか。返納制度を取り入れるつもりはあるのでしょうか、お答えください。

A 3-2 市民生活部長

返納制度については、警察との協議も今後必要になってくると思いますので、特典なども含めて今後協議してまいりたいと考えております。



あなたの声を大切に！

ブログも覗いてみてください。

小池みよ子の思い

検索

<http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>

皆さまの
ご意見もあ気軽に
お寄せください

都市対抗野球の応援に
いってきました